

沼津工業高等専門学校

# 運営諮問会議報告書

(令和3年度)

令和 4 年 3 月

沼津工業高等専門学校

運 営 諮 問 会 議

# 目 次

I. 運営諮問会議議事要旨	1
II. 概要説明	7
沼津工業高等専門学校概要	
III. 諮問事項	16
説明資料	
1. 令和2年度年度計画自己点検評価について	18
2. 令和3年度年度計画について	21
3. 本校の広報体制について	27
IV. 沼津工業高等専門学校内視察	38
V. 沼津工業高等専門学校運営諮問会議規則	40
VI. 沼津工業高等専門学校運営諮問会議委員名簿	42

## 運営諮問会議 議事要旨

## 令和3年度沼津工業高等専門学校運営諮問会議議事要旨



日 時 令和3年12月1日（水）13時～17時

場 所 沼津工業高等専門学校 大会議室

出席者 運営諮問会議委員

若原 昭浩 （豊橋技術科学大学副学長）  
小久保 光典 （芝浦機械株式会社執行役員 R&Dベロップメントセンター  
研究開発部長）  
鈴木 誠一 （株式会社エステック 代表取締役）  
野口 基 （長泉町立北中学校長）  
大橋 武志 （沼津市立門池中学校長）  
長岡 善章 （本校同窓会長）

本校教職員

中村校長、小林（隆）副校長（総務主事）、稲津校長補佐（教務主事）、  
小林（美）校長補佐（学生主事）、遠山校長補佐（寮務主事）、  
高野校長補佐（研究主事）、芳野校長補佐（専攻科長）、新富機械工学科長、  
牛丸電子制御工学科長、宮下制御情報工学科長、  
竹口物質工学科長、佐藤（崇）教養課長、鈴木（久）図書館長、  
藤尾総合情報センター長、川上教育研究支援センター長兼技術室長、  
村松広報センター長、縣事務部長、矢田部総務課長、福井学生課長

### 【校長挨拶】

会議に先立ち、校長から本校としての運営諮問会議の位置づけ及び会議の中で本校の教育研究、学校運営にご助言をいただきたく、忌憚のないご意見を賜りたい旨の挨拶があった。

### 【沼津高専概要説明】

中村校長から資料に基づき、本校の概要について説明があった。

### 【議長選出】

議長の選出について、本運営諮問会議規則第5条第1項に基づき、委員の互選により豊橋技術科学大学副学長 若原昭浩氏が推薦され承認された。

### 【議事】

若原議長から議長就任の挨拶に続いて、各諮問事項の進め方についての説明と協力依頼があり、議事に入った。

議題1. 令和2年度年度計画自己点検評価について

議題2. 令和3年度年度計画について

小林副校長（総務主事）から資料に基づき、本校の自己点検の実施概要について、国立高等専門学校機構の年度計画、大学改革支援学位授与機構の機関別認証評価及び3つのポリシーとの関係に基づいた説明があった。

続いて、稲津校長補佐（教務主事）から資料に基づき、推薦選抜、学力選抜の実施状況について、学科別の入試年次推移等について説明があり、推薦選抜の実施方法が本校に適性のある優秀な学生確保に有効に作用しているか、また、改善案等についてご意見をいただきたい旨の説明があった。

以上の説明を踏まえ、若原議長から各委員に意見照会され、各委員からの主な意見は以下のとおりであった。

- ・求人に関して大学から推薦と称するレベルは低いので、高校の偏差値を重要視している。
- ・卒業生が高専の教育内容と卒業生の活躍状況等に関連付けてPRすることは、優秀な学生確保に役立つと思う。
- ・少子化に伴う問題として、昔と比べて能力が不十分な学生の入学が可能となり、優秀な学生確保が懸念される。
- ・高知高専では県教育委員会と調整の上、入学定員の8割を推薦入試により確保している。

- ・教育支援金制度により、保護者の経済的負担が軽減され、私立高校への進学者が増加し、公立高校受験者数が減少している。
- ・私立高校は中学校訪問が活発であり、中学校教員に私立高校の知識が増えることから自然に生徒保護者へと伝わる状況がある。
- ・中学校の生徒、教員は高専についての情報が少ない、また、学科のネーミングが中学生には理解しにくいいため、高専の理解度が不十分である。
- ・「土曜学習」と称し、中学生が高専の学生に勉強を教えていただいております、この事業は中学生に人気がある。
- ・一日体験入学を9月に実施した場合、中学校3年生の学力調査時期と重なるため、参加状況に影響する可能性がある。対象学年を2年にしてはどうか。
- ・中学生にとって高専への進学は、ある程度人生の方向性を決めることとなり、高校進学を選択とは意味が違う気がする。
- ・高専の特徴として大学編入学は中学生への宣伝効果があるが、高専の本質的な部分を疎外していないか。
- ・中学生の進学先決定について、保護者に高専の情報が伝わる方法、しくみ等を工夫する必要がある。
- ・高専卒業の保護者の子弟が高専へ進学するケースが比較的多いのは、高専について親から情報が伝わっているからだと思う。
- ・社会に出るまでの必要経費について、高校から大学と高専から大学をモデルケースとして比較し提示してみてもどうか。
- ・入試におけるテストは能力の一面のみの評価であるため、入学後に追跡調査を行い、その結果を推薦入試またはアドミッションポリシー等へ反映させてみてはどうか。
- ・推薦選抜から学力選抜へ回った志願者に対する学力試験の評価（ウェイト）を見直してはどうか。
- ・女子学生の受験生確保に関し、情報系学科において在宅勤務のスキル形成等をアピールしてはどうか。
- ・中小企業においても英語力が大変重要であり、高専在学中に英語力の向上に向けた取り組みが必要である。
- ・英語力向上への取り組みに関し、留学生との交流、活用等を中学生へアピールする。

上記の意見等を踏まえ、若原議長から次のとおり総括した答申があった。

沼津高専の人材育成及び卒業生の社会への貢献等について、卒業生をとおして中学校、中学生及び保護者へ情報発信していくことにより、高専の「見える化」が進み、高専が認知され優秀な学生確保に繋がっていくと思う。

学科の名称から学科の教育研究内容がイメージできるよう、産業の分野を例示、解説する

等の工夫が必要である。

中学から高専への進路決定は、普通高校への進学者と比較した場合、人生の早い時期に将来の方向を決めることとなるため、保護者に対し丁寧に説明する必要がある。

また、学科による志願者数の差については、一つの理由として時代の影響を受け易いことがあるため、入学時の入口を広げて入学後に進むべき学科、コースを決定させる等の工夫が有効だと思う。

推薦選抜の受検者は内申点が高いことから、優秀な学生確保の観点からは適正な判断がされている。また、推薦選抜から学力選抜へ回る学生は留年退学率が低い傾向にあることから、これを学力試験の実施方法等へ反映させてみてはどうか。

### 議題3 本校の広報体制について

村松広報センター長から資料に基づき、本校の広報活動の実施体制、活動内容及び活動事例等について説明があり、今後へ向けた改善意見等を頂戴したい旨の説明があった。

以上の説明を踏まえ、若原議長からより効果的に負担減となる広報について、ご意見ご提案をお願いしたい旨を各委員に意見照会され、各委員からの主な意見は以下のとおりであった。

- ・ホームページ等への誘導を目的として、SNSを活用する。
- ・広報活動（ホームページ）に学生の発想を活用する。
- ・豊橋技科大ではホームページの作成について、学生を活用するためにインセンティブ（授業料免除）を付けて行っている例があり、教員の負担軽減になっている。
- ・ホームページの作成について、必要費用を学校が負担してクラブ同好会活動で行ってはいかがか。
- ・ホームページに写真を増やす等視覚的な魅力を強化する。
- ・学校PRを地域の理科教室等の機会を利用することにより、比較的労力の負担が少なく行うことができる。

上記の意見等を踏まえ、若原議長から次のとおり総括した答申があった。

中学生にとって高校進学への選択肢に高専進学をイメージできるよう、SNS等のメディアを活用した広報を行う。同時に学生の発想を活用し、クラブ活動等で取り組むことにより、教員の負担軽減及び中学生へ受け入れやすい広報が期待できる。

ホームページは文字情報が多いので、写真などを活用することにより、観る側が具体的

にイメージし易い工夫が必要である。

教員の研究テーマの紹介について、教員の最先端の研究のみを紹介するのではなく、過去に行っていた研究情報についても紹介し、また、研究テーマから担当教員の検索が可能にすることにより、共同研究等へのマッチングに効果的であると思う。

加えて、高専機構と両技科大の研究シーズを一括して検索できるシステムが構築されるので、このシステムを活用することにより、教員の研究に関する広報がより効果的に実施できる。

#### 【議事終了】

以上の意見交換等をもつての若原議長から議事を終了する旨の発言があり、議長職が解かれた。

#### 【施設見学】

会議終了後、校内施設（秀峰寮・学習サポートセンター・教育研究支援センター・地域創生テクノセンター・学生支援ゾーン）を見学いただいた。

#### 【校長謝辞】

校内施設見学の終了後、会議室へ戻り、校長から委員の皆様から頂戴したご意見を今後の学校運営に役立たせ、静岡県東部唯一の高等教育機関として自覚を持ち、地域に貢献したい旨の発言があり、引き続きご指導ご助言を賜りたい旨の依頼とお礼の挨拶があった。



## IV.概要説明

### 沼津工業高等専門学校概要



# 令和3年度 運営諮問会議

- 沼津高専の強み**
- \* 静岡県東部地域唯一の工学系高等教育機関であり、地域からの期待は大きい
  - \* 隣接する神奈川県・山梨県に国立高専がないため、広域から学生が集まる
  - \* 周囲には大企業から中小企業まで多くの事業所があり、学生のインターンシップ・就職先には事欠かない
  - \* 新幹線駅が近く、交通の利便性が高い

## 学校概要

校長	中村 聡		
教員	73名	事務系職員	36名
校長	1名	技術系職員	14名
教授	32名		
准教授	35名		
講師	0名		
助教	5名		

【令和3年4月1日現在】

所在地 静岡県沼津市大岡3600

創立 昭和37年4月1日

- 本科
- 機械工学科
  - 電気電子工学科
  - 電子制御工学科
  - 制御情報工学科
  - 物質工学科
  - 教養科（一般科目）

学生総数 1,092名

学生定員 本科 1,000名 (40名×5学科×5学年)  
専攻科 48名 (24名×2学年)

- 専攻科
- 総合システム工学専攻(3コース)
  - 環境エネルギー工学コース
  - 新機能材料工学コース
  - 医療福祉機器開発工学コース



沼津高専の校章



## 沿革

- 昭和37年（1962年） 機械工学科2学級、電気工学科1学級が設置  
昭和41年（1966年） 工業化学科1学級が設置  
昭和61年（1986年） 電子制御工学科1学級が設置  
平成元年（1989年） 工業化学科が物質工学科に改組  
平成 4年（1992年） 機械工学科（2学級）が  
機械工学科（1学級）と制御情報工学科（1学級）に改組  
平成 8年（1996年） 専攻科（3専攻）が設置  
機械・電気システム工学専攻  
制御・情報システム工学専攻  
応用物質工学専攻  
平成11年（1999年） 電気工学科が電気電子工学科に改組  
平成16年（2004年） 独立行政法人国立高等専門学校機構に帰属  
平成26年（2014年） 専攻科（3専攻）を  
総合システム工学専攻（1専攻3コース）に改編  
環境エネルギー工学コース  
新機能材料工学コース  
医療福祉機器開発工学コース  
令和 4年（2022年） 創立60周年

## 教育理念

人がらのよい優秀な技術者となって  
世の期待にこたえよ

（初代校長・井形厚臣先生の遺訓）

## 教育研究支援センター

最新鋭の教育・研究機器が設置され、幅広い産業分野で活躍する実践的・創造的技術者の基本となる、ものづくり教育が行われています。技術室の技術職員が実験・実習教育を支援しています。



教育研究支援センターを活用した「ものづくり教育」の風景

## 地域創生テクノセンター

実践的・創造的技術者の育成を近隣企業との共同研究をはじめとする産業界との協働を通して推進し、地域産業の活性化に貢献しています。



## 総合情報センター

本校の情報処理教育と情報システムに関わる様々な業務を行っています。



✓ 教育用計算機システムの設計・管理運用

✓ 学内情報基盤の設計・管理運用



✓ 学内情報資源の有効活用に関わる企画・技術支援

✓ 情報リテラシー教育・情報処理教育

## 図書館

教育および研究に必要な情報資料を中心に授業に欠かせない図書や教養書等が開架書架に並べられており、学術専門雑誌、一般雑誌および新聞も自由に閲覧できるようになっています。



# 学習サポートセンター

学生が勉強の悩みや授業でわからないことを解決するための場所です。図書館1階ロビーにある学習スペースにて運営しています。開放的な「Fuji café」では教員に気軽に質問したり、学生同士で教え合ったりするほか、一人で自習することもできます。小教室「礎塾<sup>いしづえ</sup>」では講義形式でのワンポイントレッスンが行われたり、教員が学生の勉強の悩み事を聞いたりしています。



Fuji caféでの学習風景



Fuji café (手前) と礎塾 (ドアの奥)

## 学生寮

寮の敷地は学校の北東に位置し、敷地内には翔峰寮・栄峰寮・光峰寮・優峰寮・清峰寮・明峰寮（女子寮）と、最近竣工した秀峰寮（混住型国際寮）の7棟があります。

**現員400名（含・留学生6名）：男子332名、女子68名**  
**（定員583名） 【2021年11月1日現在】**



混住型国際寮「秀峰寮」2021年8月竣工

### 静岡新聞 2021年11月9日朝刊

「秀峰寮」完成  
 沼津市の沼津高等学校が建設していた学生寮「秀峰寮」がほぼ完成した。外国人留学生、日本人学生が共同生活が可能で、国際交流の文化を推進したいという意気込みで、開校準備を進めている。秀峰寮は、国際交流の文化を推進したいという意気込みで、開校準備を進めている。秀峰寮は、国際交流の文化を推進したいという意気込みで、開校準備を進めている。

「秀峰寮」完成  
 沼津市の沼津高等学校が建設していた学生寮「秀峰寮」がほぼ完成した。外国人留学生、日本人学生が共同生活が可能で、国際交流の文化を推進したいという意気込みで、開校準備を進めている。秀峰寮は、国際交流の文化を推進したいという意気込みで、開校準備を進めている。

「秀峰寮」完成  
 沼津市の沼津高等学校が建設していた学生寮「秀峰寮」がほぼ完成した。外国人留学生、日本人学生が共同生活が可能で、国際交流の文化を推進したいという意気込みで、開校準備を進めている。秀峰寮は、国際交流の文化を推進したいという意気込みで、開校準備を進めている。

## 学生支援ゾーン

学生支援体制の強化・充実を図るため、学生生活支援室、保健室、カウンセリングルーム、学生課を同じフロアに統合配置しています。

### 学生生活支援室



支援室のスタッフが、学生や保護者からのさまざまな相談に応じています。

### 保健室



健康相談、体調不良者の休養や負傷時の応急処置などを行っています。

### カウンセリングルーム



カウンセラー、ソーシャルワーカー、精神科医などの専門スタッフが、相談を受けています。

### 学生課



教務係、学生係、入試・国際交流係が、学生生活に直接関係のある業務を取り扱っています。

## 沼津高専サテライトオフィス (N-com)

「ぬましんCOMPASS」(JR沼津駅北口徒歩5分)内に沼津高専サテライトオフィス(N-com)を設置し、本校から情報発信を行っています。



ぬましんCOMPASS正面玄関



サテライトオフィスN-com見学の様子

2021年度地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (JST/JICA)

## SATREPSに採択

- ・テーマ名：再生可能エネルギー水素を用いた新しいアンモニア合成システムの研究開発
- ・研究代表者：秋鹿研一（沼津高専・客員教授）
- ・相手国研究先：南アフリカ共和国・ノースウエスト大学



再生可能エネルギー電力の安価な南アフリカ側で水電解水素製造技術を、日本側でアンモニア製造技術を開発し、エネルギーキャリアとしてのグリーンアンモニアの利活用を拡大することを目的とする。グリーンアンモニア製造は小型分散型となるため新技術が必要であり、特に合成触媒と分離材料が重要とされる。本研究では日本側で実績のある合成触媒と分離剤を用いた新しいシステムを開発する。また、そのミニパイロット装置を制作してノースウエスト大学に設置される水電解装置につなげて運転することにより、実用サイズ（1日当たり60トン）のプロセス設計のためのデータを取得する。新技術によるグリーンアンモニア製造ユニットが開発され、現在石炭への依存度が高い南アフリカで再生可能エネルギーの利用が拡大されるとともに、日本のグリーンアンモニア技術が世界へ向けて製造とサービスを行う産業となることを目指す。



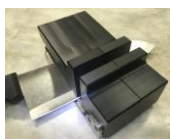
沼津高専内に「グリーンアンモニア研究センター」を設置

## 学生の活躍

- (1) 高専ロボコン2021全国大会において、ロボコン部の「チャリモ」が「ロボコン大賞」を受賞



- (2) 令和2年度パテントコンテスト・デザインパテントコンテストにおいて、知財のTKY（寺子屋）の「ハトギプロジェクト」が「特許庁長官賞」を受賞







## V. 諮問事項

1. 令和2年度年度計画自己点検評価について
2. 令和3年度年度計画について
3. 本校の広報体制について

1. 令和2年度年度計画自己点検評価について
2. 令和3年度年度計画について

- 議題1. 令和2年度年度計画自己点検結果について  
議題2. 令和3年度年度計画について

入学志願者にかかる以下の事項についてご意見等を賜りたい。

- (1) 本校に適性のある優秀な学生の確保について  
優秀な学生の確保に向け推薦選抜による定員枠の増は効果的であるか、  
また、本校に適性のある学生を確保するための有効な手段等について  
ご意見を賜りたい。
- (2) 学科間の志願者数の格差について  
情報系学科（電子制御工学科、制御情報工学科）人気が高い傾向に  
あり、中学生にとってはハード系分野（機械工学科、電気電子  
工学科）に対する興味が少ないようである。この学科偏りに対する  
有効な改善策についてご意見を賜りたい。

## 本校の自己点検の概要

- ① 高専機構本部の年度計画に基づく本校の年度計画・自己点検（毎年）
  - ・高専機構本部の年度計画に基づいて、本校の年度計画を立てて運営し、  
毎年自己点検を実施する。
- ② 高等専門学校機関別認証評価（7年に1度）
  - ・学校教育法第109条で定める評価制度
  - ・自己点検・評価の実施とその結果公表の義務
  - ・教育の内部質保証システム(PDCA)、学習成果及び教育情報の公表を  
重視した評価を実施（三つのポリシーに基づく）
  - ・平成30年度受審、次回は令和7年度受審
- ③ 本校独自の点検項目（毎年）
  - ・学生の健康・安全、外部組織との連携
- ④ 運営諮問会議による外部評価（毎年）

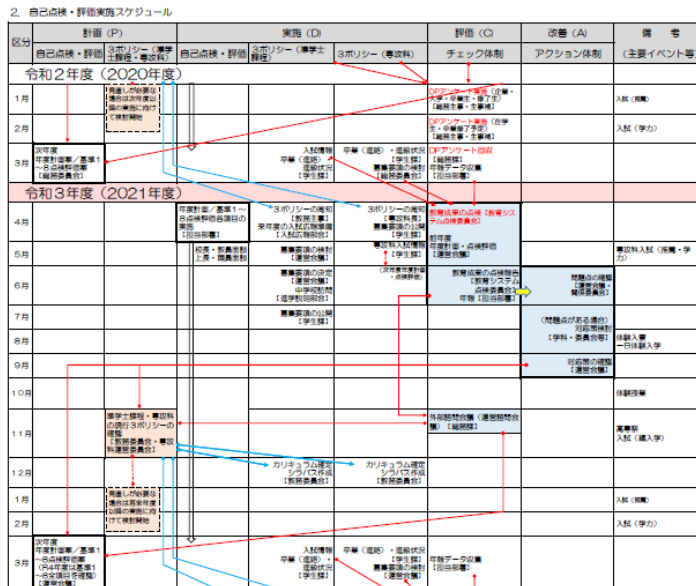
①、②の一部項目、③及び④を総合して、毎年、年報として本校ホーム  
ページで公開

## 本校の自己点検の実施状況について

年度	毎年実施する事項	一定期間毎に実施する事項
平成29年度	自己点検・評価報告書（公表）、外部評価（運営諮問会議）	DPアンケート、教育システム点検委員会
平成30年度	自己点検・評価報告書（公表）、外部評価（運営諮問会議）	機関別認証評価
令和元年度	自己点検・評価報告書（公表）、外部評価（運営諮問会議）	
令和2年度	自己点検・評価報告書（公表）、外部評価（運営諮問会議）	DPアンケート（3年毎）
令和3年度	自己点検・評価報告書（公表）、外部評価（運営諮問会議）	教育システム点検委員会（4～5年毎）
令和4年度	自己点検・評価報告書（公表）、外部評価（運営諮問会議）	機関別認証評価基準1～8自己点検（全項目を確認、次回認証評価予定の3年度前）
令和5年度	自己点検・評価報告書（公表）、外部評価（運営諮問会議）	DPアンケート（3年毎）
令和6年度	自己点検・評価報告書（公表）、外部評価（運営諮問会議）	
令和7年度	自己点検・評価報告書（公表）、外部評価（運営諮問会議）	機関別認証評価（予定）

今年度は教育システム全般の点検を予定していたが、教学マネジメント（教学IR）の導入にともない、今年度は見送りとした。

## 本校の自己点検の流れ



## 高専機構本部の年度計画に基づく主な自己点項目

### 1. 教育に関する事項

#### **入学者の確保、**

教育課程の編成等、多様かつ優れた教員の確保、  
教育の質の向上及び改善、学生支援・生活支援等、  
社会連携に関する事項、国際交流等に関する事項

### 2. 一般管理費等の効率化、給与水準の適正化、契約の適正化

### 3. 戦略的な予算執行・適切な予算管理

### 5. 不要財産の処分に関する計画

### 8. 施設及び設備に関する計画、人事に関する計画（方針）

情報セキュリティについて、内部統制の充実・強化

5

## 機関別認証評価における審査基準

基準 1 教育の内部質保証システム【重点評価項目】

基準 2 教育組織及び教員・教育支援者等

基準 3 学習環境及び学生支援等

基準 4 財務基盤及び管理運営

基準 5 準学士課程の教育課程・教育方法

**基準 6 準学士課程の学生の受入れ**

基準 7 準学士課程の学習・教育の成果

基準 8 専攻科課程の教育活動の状況

選択的評価事項 A 研究活動の状況

選択的評価事項 B 地域貢献活動等の状況

6

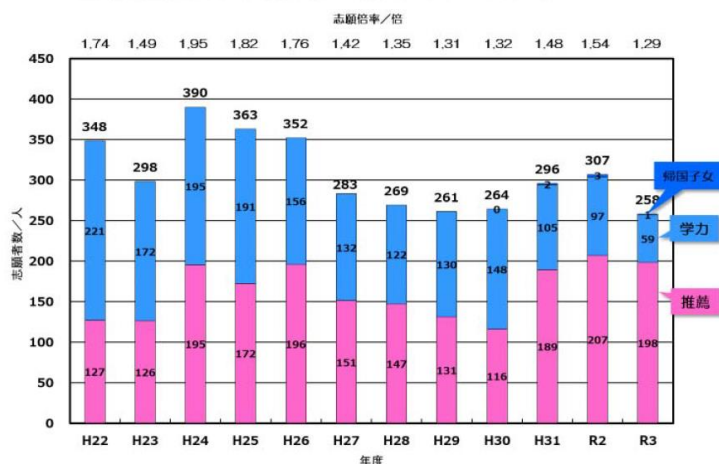
議題 1. 令和 2 年度年度計画自己点検結果について  
 議題 2. 令和 3 年度年度計画について

入学志願者にかかる以下の事項についてご意見等を賜りたい。

- (1) 本校に適性のある優秀な学生の確保について  
 優秀な学生の確保に向け推薦選抜による定員枠の増は効果的であるか、  
 また、本校に適性のある学生を確保するための有効な手段等について  
 ご意見を賜りたい。
- (2) 学科間の志願者数の格差について  
 情報系学科（電子制御工学科、制御情報工学科）人気が高い傾向に  
 あり、中学生にとってはハード系分野（機械工学科、電気電子  
 工学科）に対する興味が少ないようである。この学科偏りに対する  
 有効な改善策についてご意見を賜りたい。

本校の志願状況（全体）

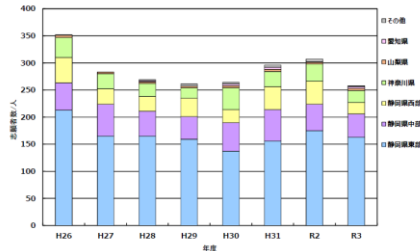
志願者数年次推移（H22～R3）



H31年度の推薦基準の見直しにより推薦志願者は増加したが、学力選抜志願者は減少。全体としては昨年度志願倍率は1.5倍を割っている。

## 地区別志願者数の推移（全体）

地区別志願者数年次推移



地区別志願者数年次推移（人）

年度	地区	静岡県東部	静岡県中部	静岡県西部	神奈川県	山形県	豊知郡	その他	全体
H26		213	50	47	37	4	0	1	352
H27		165	59	28	28	3	0	0	283
H28		165	46	27	24	3	2	2	269
H29		159	42	34	19	3	0	4	261
H30		137	53	24	40	4	3	3	264
H31		156	58	42	28	4	4	4	296
R2		175	49	42	32	3	1	5	307
R3		163	43	21	22	4	3	2	258

### 【補足資料】

#### 三つのポリシー

##### 【ディプロマ・ポリシー】

全課程を修了して167単位以上（一般科目75単位以上、専門科目82単位以上）を修得し、以下の能力を身につけた学生の卒業を認定し、準学士（工学）を授与する。

- A 技術と自然や社会との関わりや技術が関わる社会問題に関する具体的事例について、技術者の社会的責任を工学倫理の原則に基づき説明できる能力。
- B 環境エネルギー工学、新機能材料工学、医療福祉機器開発工学等の複合・融合領域に関する課題に数学、自然科学及び情報技術の知識を適用できる能力。
- C 機械工学、電気電子工学、情報工学、応用化学、生物工学のうち、いずれかの専門的知識を理解できる能力、及び工学的課題を解決するため、必要な情報やデータをハードウェア、ソフトウェアにより収集し、整理できる能力。
- D 自己の学習・研究活動の経過を、専門用語を正しく用いて、報告できる能力、及び自己の研究等に関する英語の記述や論文を7割程度理解でき、自己の研究成果等の概要を英語でわかりやすくまとめることができる能力。
- E 工学技術に関する具体的課題にチームで取り組む際、チームでの自分の役割を把握して行動し、活動の進捗状況をメンバーに報告できる能力及び自己の研究に関連する文献を調査・選択し、講読できる能力。



## 三つのポリシー

### 【カリキュラム・ポリシー】

ディプロマ・ポリシーに沿って、以下のカリキュラムを編成する。

A 技術と自然や社会との関わりや技術が関わる社会問題に関する具体的事例について、技術者の社会的責任を工学倫理の原則に基づき説明できる能力を身につけるため、1～3年次に人文・社会科学（社会）に関する科目でLevel 2（理解レベル）までを、4・5年次にLevel 3（適用レベル）までを身につける。

B 環境エネルギー工学、新機能材料工学、医療福祉機器開発工学等の複合・融合領域に関する課題に数学、自然科学及び情報技術の知識を適用できる能力を身につけるため、1～3年次に数学および自然科学（物理・化学）に関する科目でLevel 2（理解レベル）までを、4・5年次にLevel 3（適用レベル）までを身につける。

C 機械工学、電気電子工学、情報工学、応用化学、生物工学のうち、いずれかの専門知識を理解できる能力を身につけるため、5年間で専門科目82単位以上を履修する。また、工学的課題を解決するために必要な情報やデータをハードウェア、ソフトウェアにより収集し、整理できる能力を身につけるため、5年次に卒業研究を履修する。

D 自己の学習・研究活動の経過を、専門用語を正しく用いて、報告できる能力を身につけるため、4・5年次に人文・社会科学（国語）に関する科目でLevel 3（適用レベル）までを身につけ、5年次に卒業研究を履修する。また、自己の研究等に関する英語の記述や論文を7割程度理解でき、自己の研究成果等の概要を英語でわかりやすくまとめることができる能力を身につけるため、1～3年次に人文・社会科学（英語）に関する科目でLevel 2（理解レベル）までを、4・5年次に工業英語に関する科目でLevel 3（適用レベル）までを身につける。

E 工学技術に関する具体的課題にチームで取り組む際、チームでの自分の役割を把握して行動し、活動の進捗状況をメンバーに報告できる能力を身につけるため、1～5年次に卒業研究を除く実験・実習・演習に関する科目16単位以上を履修する。また、自己の研究に関連する文献を講読できる能力を身につけるため、5年次に卒業研究を履修する。

15

## 三つのポリシー

### 【アドミッション・ポリシー】

以下の意欲、および学力を有する者を、推薦選抜においては、調査書、推薦書、個人面接により、学力選抜においては、学力検査、調査書により確認し、受け入れる。

1. 科学技術に興味を持ち、入学後の学習に対応できる基礎学力を有する者。（知識・技能）
2. 科学技術を用いて社会に貢献する意欲の有る者。（主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度）
3. 科学技術の役割、技術者の責任を考えられる者。（思考力・判断力・表現力等の能力）
4. 他人の意見を聞き、自らの意見を言える者。（思考力・判断力・表現力等の能力）

16

## 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への本校 の対応基本方針について

### 基本方針

- (1) 学生はもとより、常勤・非常勤の隔てなく全教職員の生命・健康と生活を守るための最善の対策を講じる。すなわち、本校での感染者発生と感染の拡大を起こさないよう最大限努める。
- (2) 感染症が心身両面に及ぼす影響は個々人で異なることを踏まえ、異なる生活基盤をもつ外国人にも配慮して対応する。
- (3) 今年度内に定められた課程の修了ができるよう、学修時間の確保をはじめとする事項を満足する授業、学校行事の実施に配慮する。なお、今後の感染拡大状況によっては、教務上の弾力的配慮を視野に入れて対応する。
- (4) 政府、文科省、高専機構、および自治体から発出されるガイドライン等を遵守し、最新の情報を確認しながら意思決定する。

### 3. 本校の広報体制について

## 令和3年度 沼津工業高等専門学校 運営諮問会議

### 議題3 本校の広報体制について

#### 広報活動の目標

- ・認知度の向上
- ・ブランディングの構築
- ・入学志願者の増加

#### 学内の広報組織

##### 広報センター

- ・広報委員会
- ・出版委員会

入試広報部会→入試に関する広報

地域創生テクノセンター→公開講座等

#### 広報活動

- ・本校主催のイベント
- ・出展による広報イベント
- ・広報刊行物および報道取材

## 広報イベント（主催）

No.	イベント名	対象者	実施時期	担当部署（担当事務）
1	1日体験入学	中学生及びその保護者	例年7月下旬～8月上旬の土曜日	入試連絡調整会議；入試広報部会 (学生課入試・国際交流係)
2	中学生のための体験授業	中学生	例年10月上旬の日曜日	入試連絡調整会議；入試広報部会 (学生課入試・国際交流係)
3	ミニ体験授業	小・中学生	例年10月下旬の土・日曜日	入試連絡調整会議；入試広報部会 (学生課入試・国際交流係)
4	沼津高専夏の学校	中学生	例年7月下旬～8月上旬の金・土曜日	入試連絡調整会議；入試広報部会 (学生課入試・国際交流係)
5	キャンパスツアー	中学生、中学校教員	例年10～12月のうち計6日間	入試連絡調整会議；入試広報部会 (学生課入試・国際交流係)
6	進学説明会	中学生及びその保護者、 中学校教員	・1日体験入学併催：例年7月下旬～8月上旬の土曜日 ・静岡会場：例年8月下旬の土曜日 ・浜松会場：例年8月下旬の土曜日 ・小田原会場：例年9月上旬の土曜日 ・中学校教員向け：例年10月中旬の水曜日 ・高専祭併催：例年10月下旬～11月上旬の土・日曜日	入試連絡調整会議；進学説明会部会 (学生課入試・国際交流係)
7	出前授業	主に静岡県東部の中学生（申込により対応）		入試連絡調整会議；入試広報部会 (学生課入試・国際交流係)
8	公開講座 (例年10～12講座程度)	小学生～社会人	例年7月～12月頃	地域創生テクノセンター (総務課研究支援係)
9	静岡県東部テクノフォーラムin 沼津高専	企業技術者	例年12月初旬	地域創生テクノセンター (総務課研究支援係)
10	地域創生交流会フォーラム		例年2月頃	地域創生テクノセンター (総務課研究支援係)

2021  
7/31  
午前の部 9:30～12:30  
午後の部 13:00～16:00  
技術者・科学者を  
目指して!

沼津高専  
1日体験入学

【体験授業】  
・1日体験入学併催  
・10月～12月のうち計6日間  
・10月～12月のうち計6日間

【進学説明会】  
・10月～12月のうち計6日間  
・10月～12月のうち計6日間

【お問い合わせ】  
TEL: 055-455-2102



(学科展示等の様子1)



(学科展示等の様子2)



(学科展示等の様子3)



(学科展示等の様子4)



(進学説明会の様子)

1日体験入学



**令和3年 10/10(日)**  
**中学生のための体験授業**

実施時間 10:00~13:00(前席 10:00)  
第1日 10:30~12:00 第2日 13:30~15:00

実施授業一覧 [それぞれの領域で1つずつ、合計2つまで受講できます。]

第1部	第2部
<b>10:30</b> <b>12:00</b>	<b>13:30</b> <b>15:00</b>

**参加対象者** 中学生(事前申込制)  
**同時開催企画** 進学相談 | 寮生活紹介 | 学生生活紹介

事前予約 必須です

詳細は、本ウェブサイトをご覧ください

www.numazu-ct.ac.jp

TEL:055-506-5962 e-mail:nyusai@numazu-ct.ac.jp



機械工学科



電気電子工学科



電子制御工学科



制御情報工学科



物質工学科



教養科

中学生のための体験授業

\* 令和元年度 ミニ体験授業メニュー \*

<b>機械工学科</b> 生産現場で働くコンピュータによる制御体験 生産現場では、数多くのPLC(Programmable Logic Controller)と呼ばれる専用コンピュータ、ロボットやベルトコンベアなど多くの生産システムを制御しています。この様なプログラミングと制御の体験をします。 開催日時 11月2日(土) 10:30~11:10 11月3日(日) 10:30~11:10 開催場所	<b>電子制御工学科</b> ロボットにライトレースをさせてみよう 自律移動ロボット1号を用い、振動されているラインセンサーからの信号を受け取ります。プログラミングはパソコンで行いますが、誰でも簡単に理解することができます。 開催日時 11月2日(土) 11:00~11:30 11月3日(日) 11:30~12:00 開催場所	<b>物産工学科</b> 温度で色の変わる！実験をしよう 定員 16名 温度や液体の種類によって色が変わる実験を体験します。てるてる坊主の色が水やアルコールをかけたと変わります。 開催日時 11月2日(土) 10:00~10:40/11:20~12:00 11月3日(日) 10:00~10:40/11:20~12:00 開催場所 物産工学科棟4階実験室
<b>機械工学科</b> 3D-CAD設計入門 近年の設計現場では3D-CADと呼ばれるソフトウェアで機械を設計します。このソフトウェアを使った、簡単な部品の設計体験をします。 開催日時 11月2日(土) 14:30~15:15 11月3日(日) 14:30~15:15 開催場所	<b>電子制御工学科</b> おもちゃのドローンをプログラムで操ろう！ プログラムを自作して、小型のドローン(Tello)を教室内で飛ばします。ように作りますので、小学生でも作成できます。 開催日時 11月2日(土) 10:00~10:30/12:00~12:30 開催場所	<b>教養科</b> サマーウォーズ～日付から曜日へ～ 定員 15名 映画『サマーウォーズ』では主人公が日付から理日を答えるシーンがありますが、これはツェラーの公式を用いて求めることができます。このツェラーの公式を理解し、実際に日付から理日を算出してみましょう。 開催日時 11月2日(土) 11:00~11:30 11月3日(日) 11:00~11:30 開催場所 共通棟2階多目的教室
<b>電気電子工学科</b> 電池と磁石と銅線で作る回路オブジェ 乾電池・磁石・銅線コイルでぐるぐる回るオブジェを作ります。回路図でコマです。簡単に電流と磁気の作用やモータの原理を学ぶことができます。 開催日時 11月2日(土) 11:00~11:30(開始30分前から、整理券を配布します。配布場所：共通棟1階の電気電子工学科展示会場前) 開催場所	<b>制御情報工学科</b> 画像圧縮のひみつ スマホで画像や動画を手軽に見ることができるのは、画像・映像ファイルが小さくなっているからです。この授業では、図を用いた簡単な説明で基本的な考えを理解してもらいます。 開催日時 11月2日(土) 11:30~12:00 開催場所	<b>教養科</b> インド式計算 定員 15名 インド式計算とは、インドの学校で教えられている、シンプルで、早く、さらに間違いを少なくできる計算方法です。今回は掛け算についていくつかのパターンを紹介いたします。インド人の気分を一緒に味わいましょう。 開催日時 11月2日(土) 13:00~13:30 11月3日(日) 13:00~13:30 開催場所 共通棟2階多目的教室
	<b>制御情報工学科</b> 脳の知能と人工の知能 自動運転の車や、将棋や囲碁でプロ棋士に勝つなど、人工知能が脳と脳の知能はどこが違うのでしょうか？この講座では、脳神経科学の視点から、視覚や聴覚の認識現象を通して、脳の不思議について紹介します。また、脳からの神経信号と脳内の信号を利用してマジンガーZの動きを体験や、脳内の信号を指先で伝える装置の体験をすることができます。 開催日時 11月3日(日) 13:30~14:15 開催場所 制御情報工学科実験棟2階コンピュータ演習室	

ミニ体験授業

# 沼津高専夏の学校



沼津高専の雰囲気や施設が体感できます。

7/27(木)～28(金)

●場 所 沼津工業高等専門学校 (沼津市)、東しづな保健センター (沼津市)

●参加人数 中学生対象 男子 10名、女子 10名

●費 用 自由 (150円、無給付あり)

●日 程 7/7(金)

1日目		2日目	
12:40	受付 (2名) 開校式	2:50	沼津・夕食
13:00	開校式	8:45	開校式
14:00	1日講座体験しよらん	9:30	沼津高専体験はくわーへ参加
15:30	1日講座体験しよらん	10:00	高し生見学
17:00	夕食	11:30	散水
18:00	沼津ってどんなところ?	12:00	沼津高専女子部あひる台体育大会ソフトボール
18:30	アワードショー	12:30	しづな特別 夕食会
19:30	チャーム時間	13:00	少人数少人数講座 (沼津の7専の心算、静岡沼津の心算、沼津の心算)
20:30	沼津立上演奏会!	14:00	想す・知望 沼津高専見聞録
21:00	閉校	16:00	想す・知望 沼津高専見聞録

沼津工業高等専門学校 [www.numazu-c.ac.jp](http://www.numazu-c.ac.jp)



ミニゲーム(マージャンと麻雀) 授業「脳の知能と人工知能」 授業「手作りエーサーボード」



授業「物質と生物」 記念撮影

### 高専生の生活知って

沼津 中学生招き体験教室

沼津高専の生徒、職員、保護者らによる、沼津高専の魅力を伝える体験教室。沼津高専の魅力を伝える体験教室。沼津高専の魅力を伝える体験教室。沼津高専の魅力を伝える体験教室。

沼津高専の魅力を伝える体験教室。沼津高専の魅力を伝える体験教室。沼津高専の魅力を伝える体験教室。沼津高専の魅力を伝える体験教室。

沼津高専の魅力を伝える体験教室。沼津高専の魅力を伝える体験教室。沼津高専の魅力を伝える体験教室。沼津高専の魅力を伝える体験教室。

沼津高専夏の学校

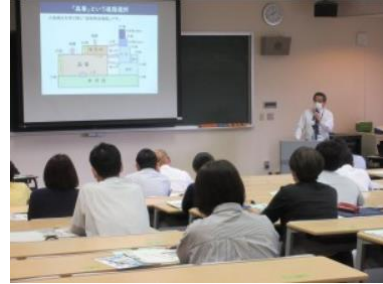
## ●キャンパスツアー(学校見学) 令和2年度

月日	曜日	中学校名	参加者数				担当者
			中学生	保護者	教員	その他	
10月16日	金	伊豆の国市立長岡中学校 富士宮市立富士宮第四中学校 湯河原町立湯河原中学校 長泉町立長泉中学校	5	5			10 進学説明部会委員(新富)、 入試・国際交流係
10月23日	金	浜松市立北里中学校 清水町立清水中学校 掛川市立北中学校	5	5			10 進学説明部会委員(芹澤)、 入試・国際交流係
11月20日	金	御殿場市立富士岡中学校 菊川市立菊川東中学校 静岡市立大里中学校 沼津市立大岡中学校 裾野市立東中学校	5	5			10 学生主事、進学説明部会委員 (薬科)、入試・国際交流係
11月27日	金	袋井市立周南中学校 菊川市立菊川西中学校 伊豆の国市立長岡中学校 富士宮市立富士宮第三中学校	5	5			10 進学説明部会委員(芹澤)、 入試・国際交流係
12月4日	金	浜松市立浜名中学校 焼津市立豊田中学校 富士市立大淵中学校 沼津市立片浜中学校 三島市立中郷西中学校	5	5			10 学生主事、入試・国際交流係
12月11日	金	三島市立中郷西中学校 沼津市立戸田中学校 東海大学附属静岡沼津中学校 静岡県立清水南高等学校中等部	4	5		1	10 進学説明部会委員(高野)、 入試・国際交流係
3月30日	火	アメリカンインターナショナルスクールテューナイ	1	1			2 進学説明部会委員(芹澤)、 事務係長、入試・国際交流係
							0
合計			30	31	0	1	62

キャンパスツアー

●進学説明会 令和2年度

月日	曜日	開催地	参加者数				
			中学生	保護者	教員	その他	計
8月9日	日	沼津高専 1回目	31	45			76
		沼津高専 2回目	32	45			77
		沼津高専 3回目	31	43			74
		沼津高専 4回目	32	41			73
8月22日	土	アクトシティ浜松研修交流センター	22	27			49
8月30日	日	国際医療福祉大学小田原キャンパス	23	34			57
8月30日	日	めましんCOMPASS(N-com)	12	13			25
9月6日	日	静岡県総合研修所 もくせい金館	36	43			79
10月8日	木	中学校教員向け			38		38
							0
							0
合計			219	291	38	0	548



進学説明会

中学校教員対象の進学説明会

学科名	演題名	担当教員	定員(希望)	対象学年
部 工 学 科	ペーパーバーナーを作ろう、増築しよう!	村松 久巳 渡辺 真志 前田 敦人 西田 友久	40名	小学校高学年 ~中学生
	動物の骨を作ろう、増築しよう!	山中 仁 渡辺 真志 前田 敦人 西田 友久	40名	小学校高学年
部 工 学 科	録音レコード	望月 礼二	10~40名	中学生
	身の回りにおける電気のしくみ ～スイッチはなぜ開閉する? ～家庭用のACアダプター～	高野 明夫 高野 真由	20名程度	小学4年生 ~中学生
	光の不透明な膜を体験しよう	野毛 悟 応根 誠		小学3年生 ~中学生
	ペーパーブリック	望月 礼二	20~120名	小学校高学年 以上(以下、応 根)
	ライターで電線を作ってみよう ～ヘルシートの実験～	嶋 直樹	20名	中学生
	銅線回路で手帳を作ろう	小村 元憲	20名程度	中学生
	盛り盛り電線と足敷銅線回路 を見えたいと作ってみよう	西村 賢治	30名	中学生(小学校 高学年も参加)
	プログラムロボットと 3Dブロックロボット実験	大津 孝佳	20名	小学3年生 ~中学生
	着たて紙を研ぎをる	大津 孝佳	40名	小学1年生 ~中学生
	UV-LED (電線回路) を 学ぶ	大津 孝佳	30名	小学3年生 ~中学生
部 工 学 科	ロボットで光センサーを 組みつけてみよう	川上 誠	20名	小学4年生 ~中学生
	ロボットにライントレースを させてみよう	川上 誠 青木 悠希	20名	小学4年生 ~中学生
	身の回りに使われているよ!	野 真由	20名	中学生
	ゼロからのロボット制作	青木 悠希	20名	中学生

学科名	演題名	担当教員	定員(希望)	対象学年	授業概要
部 工 学 科	センサとロボット制御	久々保達也 芹澤 弘秀	40名	中学生	センサのしくみとロボット制御の方法を簡単な電子モジュールによって説明します。特に中学校の理科(電気の学習範囲)にシフトすることもできます。
	パソコンや携帯電話の中の オペレーティングシステム	山崎 信史	40名	小学4年生 ~中学生	今や多くの人がパソコンや携帯電話を使用していますが、その中に組み込まれているオペレーティングシステムについて、電子モジュールを使って学ぶながらわかりやすく解説します。
	身の不思議	宮下 真直	40名	小学4年生 ~中学生	授業や授業の観察実験について紹介します。また、身の回りや身の不思議を使って、マジックハンドを動かす術を実演します。
	数学・理科の大切さとおもしろさ	芹澤 弘秀	数名~200名 (1学年可能)	中学生	なぜ数学や理科を学ぶのか?それがどう役立つのか?などの疑問に答えるべく、簡単な実験やソフトウェアを動かしてわかりやすく説明し、「からみ」を引き出すことを目指します(中学校の希望に沿った内容と実施時期に対応可能)。その他、中学校の教育課程の位置づけとその重要性についても説明します。
部 工 学 科	身近な現象を調べてみよう	芳野 西士 渡辺 孝佳 高野 真由 山口 真之	35名	小学5年生 ~中学生	私たちは生きるために水を飲み、空気を吸っています。一方で、便利な生活を送るために汚れた水を流し、車の排気ガスで空気を汚し、ゴミを出しているものもたくさんあります。私たちの身の回りや生活が関わっているのか知りたくなったことはありませんか?本講座では身近な現象について具体的な調査する方法をご紹介します。
	いろいろな電池をつくってみよう、 おてみよう	津津 夏司 森田 志志 青山 陽子 高橋 知之 山根 誠子 新井 貴司 伊藤 裕哉	25名程度	小学4年生 ~中学生	これから生活で意識しないといけない「エネルギー」。電気エネルギーはこれからのエネルギーとして最も重要で、この電気エネルギーはどのようにしてエネルギーに変換して使われるかが重要です。その変換をどのように実現するか、作って学ぶことができます。燃料電池を使う、新しい電池の作り方も紹介します。
	3Dプリンターで金魚を作ろう	大川 知之 山根 誠子	35名	小学5年生 ~中学生	金魚を作ったことありますか?印刷などの技術が金魚を作ることを知るとは思いません。でも金魚は、顔だけに印刷するわけではありません。ツノや尾を別々に印刷して組み立ててみるのがこの授業です。その変換をどのように実現するか、作って学ぶことができます。印刷技術の再活用についても紹介します。
	目に見えない紫外線を 観測してみよう	宮川 一実 高橋 知之 山根 誠子	35名	小学5年生 ~中学生	太陽から降り注ぐ光には、いろいろな波長の光が含まれています。その中には目には見えない紫外線と赤外線が含まれています。この授業では、紫外線を感知して色が変わるフォトレゾリューションを用いた実験を通して、紫外線の性質やどうして紫外線が体に悪いのかについて学びます。また、紫外線が体や衣類や地球環境問題と合わせて考える授業となります。
部 工 学 科	算数・数学で防災教育	鈴木 正樹	30名	小学5年生 ~中学生	算数・数学視点での学習型の防災教育です。対象学年の算数・数学の知識に応じて、例えば、津波発生時には避難経路が長いのか水平避難が良いのか、高層階が倒壊する危険なビルがたつた土地の面積はどれくらいか、津波の到達時間や高さの予測方法など、防災意識率60%の意味や根拠とは、などについて解説します。

出前授業



## Invitation to Technology 2021

# 沼津高専公開講座 受講生募集

**PLCを用いたシーケンス制御入門**  
～ラダープログラミングの基礎～  
7/24日 9:00～17:00 **実施済**  
\*対象 一般社会人・定員 10名・費用無料・申込先 沼津高専

**サンドブラスト加工とガラス加工体験**  
～オリジナルカップ及びトンボ玉の作成～  
8/5日 9:30～16:30 **実施済**  
\*対象 中学生・定員 10名・費用無料・申込先 沼津高専

**門地環境調査報告！2021 身近な水辺の環境を調べよう**  
8/6日 9:30～15:30 **実施済**  
\*対象 小学校4年生から中学生まで・保護者の参加が原則です  
\*定員 15名・費用無料・申込先 沼津高専

**小さな微生物の大きなチカラ**  
～培養実験する～  
8/7日 10:00～15:00 **実施済**  
\*対象 小学生から中学生まで・定員 10名・費用無料・申込先 沼津高専

**Arduinoを使って制御の基本を学ぼう**  
～プログラミングの基礎を学んで、LEDを制御しよう～  
8/20日 13:00～16:30 **中止**  
\*対象 中学生・定員 10名・費用無料・申込先 沼津高専

**PLCを用いたモーション制御入門**  
～駆動ステージの制御～  
\*延期 9/24日(土) 9:30～17:00  
\*対象 一般社会人・定員 10名・費用無料・申込先 沼津高専  
\*定員 10名・費用無料・申込先 沼津高専

**数学で防災講座** **実施済**  
～確率分布と地震発生確率～  
\*延期 9/29日(日) 9:30～13:30  
\*対象 一般社会人・定員 10名・費用無料・申込先 沼津高専

**デジタル時代のフリー工解新入門**  
～情報編【午前】・中級編【午後】～  
\*延期 9/4日(土) 9:30～16:00  
\*対象 沼津高専・定員 10名・費用無料・申込先 沼津高専

**大人のためのロボット教室**  
～ロボカップジュニアの指導者を目指して～  
\*延期 9/18・25・10/16・23(土) 13:00～16:00  
\*対象 一般社会人・定員 10名・費用無料・申込先 沼津高専

**パソコン組み立て教室**  
～パソコンの仕組みとソフトウェアのインストール～  
10/6日・13日 18:30～20:00 **実施済**  
\*対象 中学生・定員 各 12名・費用無料・申込先 沼津高専

**中学生のための化学実験講座**  
11/14日 19:30～11/4日 13:20～15:30 **1回限一泊**  
\*対象 中学生・定員 各 12名・費用無料・申込先 沼津高専

**12/4日 9:30～16:30**  
\*対象 中学生・定員 10名・費用無料・申込先 沼津高専

沼津工業高等専門学校  
National Institute of Technology, Numazu College

公開講座

## 第16回 静岡県東部 沼津高専と地域産業が 共に立ち向かう

# テクノ フォーラム in沼津高専

11/25(木)

13:00～16:30  
会場：沼津工業高等専門学校 第2体育館

**基調講演**  
マキノの考える製造業の  
逆スマイルカーブ戦略

**井上 真一 氏**  
株式会社マキノフラインス製作所  
取締役社長

**経歴**  
1987年 沼津高専 機械工学科 卒業 (専攻) 期  
1992年 北海道大学大学院 工学研究科 卒業  
機械工学科 助教 助教授 主任 教授  
2011年 慶応義塾大学 工学部 教授  
2014年 静岡県立沼津高等学校 校長  
2015年 静岡県立沼津高等学校 校長  
2017年 静岡県立沼津高等学校 校長

**企業展示**

- 沼津高専卒業生による企業展示
- 沼津高専未創設ラボラトリー入居企業による展示
- 沼津高専地域創生交流協会加盟企業による展示
- 地元企業等による展示
- 科学技術情報

**入場無料** **出席無料**  
参加申込は要 出席申込は要

**TEL 055-926-5856**  
**FAX 055-926-5700**  
E-mail sangaku@numazu-ct.ac.jp

沼津工業高等専門学校  
National Institute of Technology, Numazu College

東部テクノフォーラムin沼津高専

### 広報イベント（出展）

No.	イベント名	対象者	実施時期	担当部署（担当事務）
1	中学校訪問	中学生，中学校教員	例年5月～8月上旬？	入試連絡調整会議 (学生課入試・国際交流係)
2	高校説明会	中学生及びその保護者	例年10月下旬～11月上旬	入試連絡調整会議 (学生課入試・国際交流係)
3	文部科学省 情報ひろば	一般	企画展示「沼津高専の静岡県東部地域の魅力発信活動」を展示	広報センター (総務課総務係)
4	情報ひろば（沼津市役所）	一般	企画展示「沼津高専の静岡県東部地域の魅力発信活動」を展示	広報センター (総務課総務係)
5	富士山麓産学官金連携フォーラム	企業技術者	例年11月	地域創生テクノセンター (総務課研究支援係)
6	富士山麓アカデミック&サイエンスフェア	一般	例年11月	地域創生テクノセンター (総務課研究支援係)

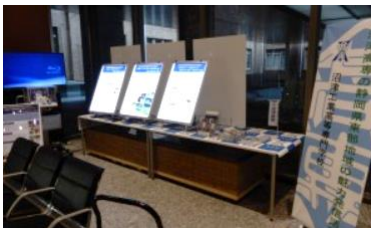
	令和2年度	令和元年度	平成30年度
静岡県東部	78	68	70
静岡県中部	70	70	77
静岡県西部	57	57	64
神奈川県	33	33	18

●高校説明会(中学校主催進学説明会)

月日	曜日	中学校名	参加者数				担当者
			中学生	保護者	教員	その他	
6月3日	水	三島市立錦田中学校	中止				
7月16日	木	三島市立山田中学校	80				80 学生主事
7月17日	金	富士宮市立井之頭中学校	2	2			4 進学説明部会委員(薬科)
7月28日	火	御殿場市立南中学校	25	8			33 進学説明部会委員(芹澤)
7月30日	木	沼津市立今沢中学校	10	4			14 学生主事
7月30日	木	三島市立北中学校	23				23 進学説明部会委員(大沼)
7月30日	木	沼津市立門池中学校	94				94 学生主事
8月5日	水	静岡県立科学技術高等学校				50	50 進学説明部会委員(新藤)
10月5日	月	賀茂地区私立高等学校等合同説明会			24		24 学生主事、入試・国際交流係
10月22日	木	西部地区公立高校合同説明会			80		80 進学説明部会委員(高野)、入試・国際交流係
10月22日	木	三島市立北上中学校	28				28 進学説明部会委員(大沼)
10月30日	金	静岡大学附属静岡中学校	62				62 進学説明部会委員(芹澤)
2月24日	水	長泉町立長泉中学校	中止				
合計			324	14	104	50	492

令和2年度 中学校訪問

令和2年度 高校説明会



← ツイート



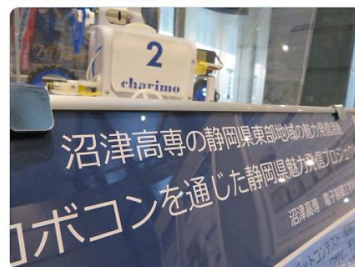
文部科学省 情報ひろば @mexthiroba

新着📌①【文部科学省エントランス特別展示】

#沼津工業高等専門学校 の展示  
『沼津高専の静岡県東部地域の魅力発信活動』が始まりました！(5/7(金)まで)

場所：#文部科学省 エントランス(新庁舎2階)

詳細 [mext.go.jp/joho-hiroba/sp...](https://mext.go.jp/joho-hiroba/sp...)  
#情報ひろば #高専ロボコン #VR化



午前11:43・2021年4月5日・Twitter Web App

文部科学省 情報ひろば

企画展示「沼津高専の静岡県東部地域の魅力発信活動」



富士山麓アカデミック&サイエンスフェア2019(A&Sフェア2019)は、静岡県無形地域を中心とした高等教育機関(大学、短期大学、高等専門学校)企業・行政が連携し、日ごとの研究発表や活動の発表を行うイベントです。広域教育圏で行われている多様な多様な分野の最先端研究や地域での活動を一気に知る機会です。若手研究者の発表の場をもち、学生や研究者と交流、意見交換や交流を促すことができます。

**日時** 2019年11月27日(水)  
13:00~16:30(受付開始は12:30~)

**会場** キラメッセぬまづ  
(アピアプラザ静岡センター)  
〒424-8501 沼津市大字町1-1-4 電話: https://www.pleaserver.jp/

※参加無料・事前申し込み不要です。多くの方のご来場をお待ちしております。

**各エリアのご案内**

**ポスター発表エリア**

下記の直轄教育機関の学生・教員がこれまでの研究発表の成果をポスターにて発表します。発表者がポスター一枚に立ち、来場者との交流に努めます。ポスター発表は教育機関時では早く分厚いになっています。受付にて予約券が配られますので発表の場へお越しの際は、必ず事前の予約券をお持ちください。

◎発表教育機関(発表分野の詳細はポスターをご覧ください)  
東海大学海洋学部、沼津工業高等専門学校、沼津技術専門学校、静岡国立大学、常陸大学静岡校等々、日本大学沼津校、日本大学短期大学部

**イベントエリア**

東海大学海洋学部、日本大学沼津校等々、日本大学短期大学部の学生が行っている調査や社会貢献活動を紹介します。詳細につきましてはポスターをご覧ください。

**プロモーションエリア**

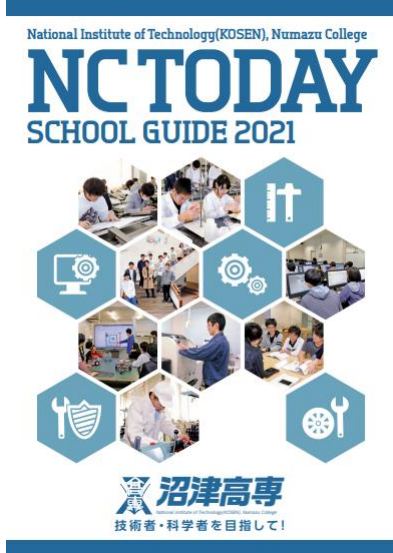
A&Sフェア2019の開催機関(実行委員会)が、教育・研究、技術開発、職工交流および知財活動の活用促進を図る活動の場を行います。

主催:富士山麓アカデミック&サイエンスフェア実行委員会

富士山麓アカデミック & サイエンスフェア

広報刊行物等

No.	刊行物名	対象者	作成時期	担当部署(担当事務)
1	NC Today 《資料あり》	中学生及びその保護者	年1回 <a href="https://www.numazu-ct.ac.jp/admission/ex_magazine">https://www.numazu-ct.ac.jp/admission/ex_magazine</a>	入試連絡調整会議:入試広報部会 (学生課入試・国際交流係)
2	NC Today インタロダクション 《資料あり》	中学生及びその保護者	年1回 <a href="https://www.numazu-ct.ac.jp/admission/ex_magazine">https://www.numazu-ct.ac.jp/admission/ex_magazine</a>	入試連絡調整会議:入試広報部会 (学生課入試・国際交流係)
3	学校案内と入試制度案内動画 (Youtube)	中学生及びその保護者	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=5OZK3S806PQ">https://www.youtube.com/watch?v=5OZK3S806PQ</a>	入試連絡調整会議:入試広報部会 (学生課入試・国際交流係)
4	地域創生テクノセンター ニュース《資料あり》	企業技術者	毎年1回	地域創生テクノセンター (総務課研究支援係)
5	研究シーズ集	企業技術者	隔年1回	地域創生テクノセンター (総務課研究支援係)
6	沼津高専だより《資料あり》	保護者、市民一般	毎年2回	広報センター:出版委員会 (総務課総務係)
7	沼津高専概要《資料あり》	一般	毎年1回	広報センター:出版委員会 (総務課総務係)



三 YouTube

独立行政法人 国立高等専門学校機構

**沼津高専** (沼津工業高等専門学校)

**学校案内&入試制度案内**

**教育理念**  
人柄のよい優秀な技術者となって世の期待にこたえよ

沼津工業高等専門学校 学校案内・入試制度案内動画  
1,102 回視聴 - 2020/10/27

沼津工業高等専門学校  
沼津工業高等専門学校

0件のコメント

沼津工業高等専門学校

沼津高専の地域連携 地域創生  
テクノセンターニュース 第17号  
2021.07.28

**未来創造ラボトリー利用企業紹介**

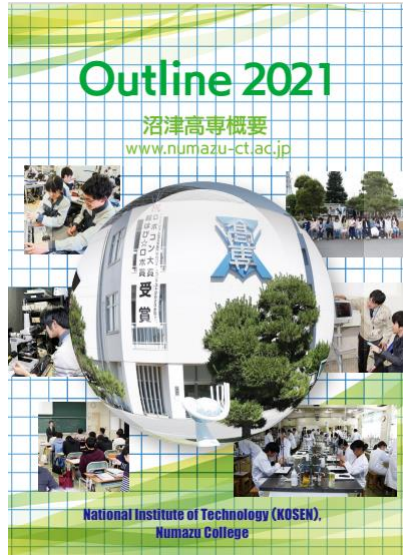
**株式会社まきび**

弊社は、2006年7月に創業し、現在36項目になっております。現在の主力業務としてはWebのシステム開発で、2018年より開始したiPad、iPhone、Androidなどのスマートフォンアプリの開発も増えております。  
弊社で開発したアプリでは、教育分野の研修や現場での受講者を中心とした講習会によるコンテンツの活用が主である事例が多くあり、そのうち今年度から農業分野の研修テーマとしてトラクター操縦の研修を受けていただきました。受講者もまた、トラクターの研修の経験からトラクターの操作に関する知識を得ることができ、大変有意義な研修となりました。

**株式会社 千代田**

千代田は、創業1905年から国内外のネットワークを築き、成長に当たり産業インフラ・社会インフラ事業を中心に携わってきました。  
10周年を機に、シニア向けで「暮らしの安心」をテーマとしたデジタルサービスを策定し、社内やサブスクリプションを軸とした、社会課題解決型「千代田」事業を推進しております。  
地域や社会から千代田様へ「なかま」として選んでいただける会社になることを目指しております。  
企業文化、お客様との信頼関係構築、今年度での活動、協業から社会課題の解決、新規事業の創出、事業、施設内設備設備物を利用したコンテンツの開発など、地域の発展と連携した「千代田」文化にも誇り、SDGs、社会課題の解決に取り組んでまいります。期待の事業に力を入れてまいります。  
社会課題と連携もついでに、期待の事業に力を入れてまいります。期待の事業に力を入れてまいります。

千代田のSDGsへの取り組み



## Ⅱ. 沼津工業高等専門学校 校内視察

沼津工業高等専門学校運営諮問会議委員による校内視察

運営諮問会議の終了後、秀峰寮・学習サポートセンター・教育研究支援センター・地域創生テクノセンター・学生支援ゾーンを視察いただきました。



秀峰寮



学習サポートセンター



教育研究支援センター



地域創生テクノセンター



学生支援ゾーン

## I .沼津工業高等専門学校運営諮問会議規則



## 沼津工業高等専門学校運営諮問会議規則

### (設置)

第1条 沼津工業高等専門学校（以下「本校」という。）に本校以外の有識者による沼津工業高等専門学校運営諮問会議（以下「諮問会議」という。）を置く。

### (目的)

第2条 諮問会議は、本校の学校運営全般について、指導及び助言を行い、本校の健全な学校運営を支援することを目的とする。

### (任務)

第3条 諮問会議は、次の各号に掲げる事項について、校長の諮問に応じて審議し、及び校長に対して助言を行うものとする。

- (1) 本校の中期目標、中期計画及び年度計画に関する重要事項
- (2) 本校の教育及び研究活動に関する重要事項
- (3) その他、本校の運営に関する重要事項

### (組織)

第4条 諮問会議の委員は、人格識見が高く、かつ、本校の振興発展に関心と理解のある学外有識者で、次の各号に掲げる者のうちから、校長が委嘱する委員をもって組織する。

- (1) 大学等高等教育機関の関係者
- (2) 産業・経済界の関係者
- (3) 本校が所在する地域の関係者
- (4) 本校の支援団体等の関係者

2 諮問会議は、必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め意見を聴くことができる。

### (議長)

第5条 諮問会議に議長を置き、その議長は委員の互選をもって充てる。

- 2 議長は、諮問会議の会務を総括する。
- 3 議長に支障があるときは、あらかじめ議長が指名した委員が職務を代行する。

### (任期)

第6条 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 前項の委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

### (事務)

第7条 諮問会議の事務は、総務課において処理する。

### (雑則)

第8条 この規則に定めるもののほか、諮問会議の運営に関し必要な事項は、諮問会議が別に定めるものとする。

### 附 則

1. この規則は、平成21年4月1日から施行する。
2. この規則の施行後、最初に委嘱された委員の任期は、第6条第1項の規定に係わらず平成23年3月31日までとする。

### Ⅲ.沼津工業高等専門学校 運営諮問会議委員名簿

令和3年度沼津工業高等専門学校運営諮問会議委員

整理番号	氏名	現職	規則根拠	備考
1	わかほら あきひろ	豊橋技術科学大学 副学長(高専連携担当)	規則第4条第1項第1号委員 (大学等高等教育機関の関係者)	
	若原 昭浩			
2	ひらおか としひこ	東レ株式会社 三島工場 工場長	規則第4条第1項第2号委員 (産業・経済界の関係者)	
	平岡 俊彦			
3	こくぼ みつのり	芝浦機械株式会社 執行役員 R&Dセンター研究開発部長	規則第4条第1項第2号委員 (産業・経済界の関係者)	
	小久保 光典			
4	すずき せいいち	株式会社エステック 代表取締役	規則第4条第1項第2号委員 (産業・経済界の関係者)	
	鈴木 誠一			
5	のぐち もとい	長泉町立北中学校長	規則第4条第1項第3号委員 (本校が所在する地域の関係者)	
	野口 基			
6	おおはし たけし	沼津市立門池中学校長	規則第4条第1項第3号委員 (本校が所在する地域の関係者)	
	大橋 武志			
7	かわい たかのり	沼津工業高等専門学校 地域創生交流会 会長	規則第4条第1項第4号委員 (本校の支援団体等の関係者)	
	河合 隆徳			
8	ながおか よしのり	沼津工業高等専門学校 同窓会 会長	規則第4条第1項第4号委員 (本校の支援団体等の関係者)	
	長岡 善章			

## 運営諮問会議報告書

—令和3年度年度計画自己点検評価の検証—

(令和4年3月発行)

沼津工業高等専門学校 総務課

〒410-8501 沼津市大岡 3600

TEL 055-926-5712

Fax 055-926-5700

URL <https://www.numazu-ct.ac.jp>